



佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第336号 (2020年8月)



新型コロナウイルスの流行で、学校が長期にわたって休校し、行事も各種大会も普段通りとはいかない中で過ごした1学期。生活のリズムを整え、学習に部活動に熱心に取り組めましたか。これから始まる夏季休業は、8月1日から8月23日までの約3週間です。短い夏休みとなりましたが、短いからこそ毎日を大切に過ごし、有意義なものにしましょう。

高校生ものづくりコンテスト佐賀県大会

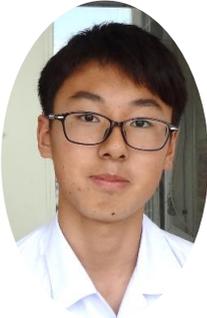
6月27日(土)、第18回高校生ものづくりコンテスト佐賀県大会が開催されました。本校では旋盤作業、電気工事、電子回路組立、木材加工の四部門の競技が行われました。今年は3月から5月半ばまで新型コロナウイルスの影響で休校になり、練習時間が十分には取れませんでした。選手諸君はできる限りの努力をして大会に臨みました。電子情報科3年の森柔磨君が電子回路組立部門で最優秀賞、機械科3年の鈴木海翔君が旋盤作業部門で、電気工事部門では電気科2年の西川亮成君が優秀賞、木材加工部門では建築科3年の真木湧大君が優良賞を受賞しました。



◆森柔磨君 (シ3-2・城西中)

はんだ付けは練習して上達していくのが目に見えてわかります。歴代の先輩が残してくださっているものにはまだ及びませんが、自分も少しずつ成長しているのを感じました。本番ではミスをして、はんだを付け直さなくては

ならなくなり、焦りましたが、良い結果を残せたのでとても嬉しいです。顧問の徳永先生のご指導にとっても感謝しています。



◆西川亮成君 (テ2-2・大和中)

この大会を通して、普段から多くの人に支えられて今があるということを感じました。顧問の先生、大会の運営をして下さる先生方、練習を見に来て下さる先生方。特に世話になったのはアシスタントのサトシです。毎日、準備から片付けまで手伝ってもらいました。時には励ましの言葉やアドバイスも。電気工事は金属管が一発でピシッと形が決まった時はうれしいです。今回、惜しかったのでまた挑戦したいです。



◆鈴木海翔君 (キ3-2・城北中)

今回、私は初めてものづくりコンテストに出場しました。1つの課題を製作するのに約2時間かかるので練習時間も長く、コンマ1ミリのミスも許されないの、高い集中力を保つのは非常にきつ

かったです。岡本先生の丁寧な指導を受け、たくさん励ましていただきました。機械科学部の皆にも手伝ってもらいました。人に見られながら調子を崩さずに作業するのに慣れるまでに時間がかかりました。惜しくも2位でしたが、貴重な経験になりました。



◆真木湧大君 (ケ3・三田川中)

去年は入賞できなかったの、今年は優勝する気持ちで練習に取り組んできました。でもそれが果たせず、とても悔しかったです。63ミリのほぞを67ミリと思い込んでしまい、組み立てるときに気付いて、終わった!と思

いました。裏を見ると失敗はわかるけれど、きれいに作ろうと努めました。少しもガタつかない仕上がりでした。

SSP 杯 山岳部優勝おめでとう！

6月13日、14日は金山、井原山、雷山山系でSSP杯登山競技が行われ、山岳部がみごと優勝を果たしました。今回は競技規模が縮小され、普段ならある天気図や設営検査などの競技はありませんでした。選手諸君に、今回の結果についての感想や部活動を通して感じていることなどを聞きました。



◆古川颯大君

(主将・キ3-1・小城中)

今年のチームは体力があります。学校の外周を6、7周、1周4分で走って鍛えました。部活動で山という不便な場所の生活を体験して、日々の生活のありがたさがわかりました。



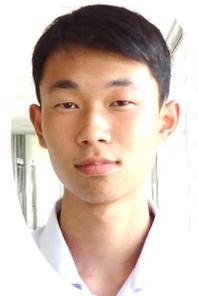
◆岩里悠生君

(シ3-1・武雄中) 大会の初日から天気が悪かった。それでも登らなければならなかったの、なんとかやる気を出して頑張った。今回の大会で勝てたのは末次大人先生のおかげだと思っている。



◆梶原大和君(テ2-1・江北中)

3年生は最後の大会で、去年の総体と新人大会で唐津東に負けてしまったので、今回は必ず勝つ！という気持ちで挑みました。2年生が1人でプレッシャーもありましたが、天候が悪い中、自分ができることを十分にできたと思います。この経験を次の大会や来年の総体に生かしたいと思います。



◆長尾知弥君

(キ3-1・江北中) 大会当日の朝、出場できない2、3年生が応援に来てくれました。悪天候の中行われた大会を全力でやり遂げることができました。夏の合宿が楽しかったです。植物とか虫とか北アルプスの自然が魅力です。



次期生徒会長に 建築科2年 森 魁威人君

7月21日(火)、生徒会長選挙が行われました。候補者は、2年の各クラスから立候補した6名で、期末テスト後、東西の昇降口に各候補者の写真入りポスターが掲示され、候補者は正門に立って、選挙運動を行いました。今回の立会演説会は、会場の多目的室から各クラスの電子黒板に生中継されました。候補者の



皆さんはそれぞれ堂々と公約を述べ、有権者である生徒諸君に支持を訴えました。そして教室前の廊下が投票場所となり、その日のうちに選挙管理委員により開票作業が行われました。

開票の結果、建築科2年の森魁威人君(金泉中)が当選しました。森君は「校内には汚れているところが目立ちます。校内美化・環境整備に取り組み、『勉強したい』と思える学校にしたいです」と語っています。皆さんの教室の整理整頓はできていますか？学習に集中する教室。考えただけでもうっとりします。新会長の手腕に期待しています。生徒会メンバーは2学期に発表されます。



校章の由来

江川和則先生

先月から始まった職員による随想のリレー連載。今回は、機械科の江川和則先生です。

平成13年にキュポラが更新になったのをきっかけに友清先生（現在鳥栖工業勤務）のかけ声により数十年ぶりにキュポラ溶解実習を再開することになりました。そこで佐工の校章文鎮を機械科の卒業生に贈ることにしました。原型は、野中先生（当時科長）が考案して業者に依頼したものです。金型は当時の同窓会総会の実行委員会より寄付をしていただき製作しました。

卒業生に贈る文鎮に「由来書」をつけたらさらに記念になるとの意見で、本校の卒業生である私にお鉢が回ってきました。早速、図書館へ行き、本校の創立年記念誌を調べて、なんとか「由来書」なるものを完成させました。以下にその「校章の由来」を紹介したいと思います。

「現在の校章はさかのぼること70年以上前、学制改革によって旧制佐賀工業学校から昭和23年4月に「佐賀県立佐賀工業高等学校」に改称された時、当時の図工担当の先生の呼びかけで全校生徒の応募の中より採用されたものです。

明治31年創立当時は、銀色の工(図1)であったが、明治43年佐賀県立商船工業学校より独立し「佐賀工業学校」に復した時、当時の第6代校長竹内次夫氏によって「金色のSに工を組み合わせたもの(エス・コー)」(図2)に改められ、慣れ親しまれていました。ところが昭和19年、敵性語使用禁止で出来た校章(図3)は、新制県立佐賀高等学校(旧：県立佐賀中学校、現：佐賀県立佐賀西高等学校)の校章とまぎらわしいので、校内で新しい校章を募集することになり、選考の結果、当時電気科2年の中山正敏(旧姓：小部)さんが発案し、角田正則さんに提供した作品が採用されました。(図4)

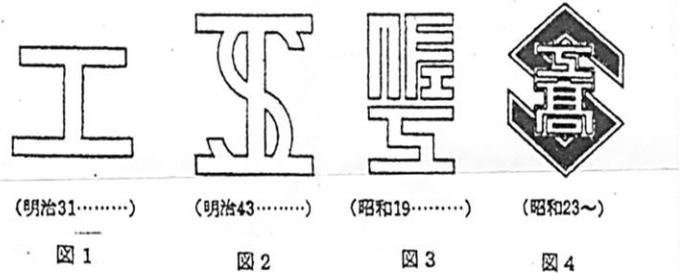
このデザインは、「エス・コー」のSを縦長六角にしたもので、縁は白抜き、中は黒塗り、その中に工高をのせたものです。

校章には、「S(エス)は創意・工(コー)は工夫・高は高めよう」という気持ちが込められています。(平成14年度同窓会総会の折りに先輩方よりそのような話を伺っています。)

詳しいエピソードは、創立百周年記念誌(星霜百年)の「エス・コー」雑感に書いてあるので、是非ご一読ください。

最後に、本校の創立記念誌を読んでいくと佐工の歴史とともに諸先輩方の功績や昭和9年に現在の校歌が発表されたことなど、創立120年有余の歴史を感じました。

校章の変遷



表彰

キ：機械科 テ：電気科 シ：電子情報科 ケ：建築科 I：情報システム科

◆ 佐賀県技能競技大会 平成31年度後期技能検定 佐賀県技能競技大会 シーケンス制御作業3級 佐賀県知事賞 田中 悠馬 (シ3-1・相知中)	SAGA 2020 SSP杯 佐賀県高等学校スポーツ大会 ◆ 登山競技 男子団体 第1位 古川 颯大 (キ3-1・小城中) 長尾 知弥 (キ3-1・江北中) 岩里 悠生 (シ3-1・武雄中) 梶原 大和 (テ2-1・江北中)
第18回高校生ものづくりコンテスト佐賀県大会 電子回路組立部門 最優秀賞 森 柔磨 (シ3-2・城西中) 旋盤作業部門 優秀賞 鈴木 海翔 (キ3-2・城北中) 電気工事部門 優秀賞 西川 亮成 (テ2-2・大和中) 電子回路組立部門 優秀賞 堤 悠馬 (シ3-1・昭栄中) " 優良賞 中島 吟 (シ3-1・成章中) 木材加工部門 優良賞 真木 湧大 (ケ3・三田川中)	◆ 水泳競技 男子50m背泳ぎ 第2位 古川 由馬 (I1・大和中) 男子50m背泳ぎ 第3位 糸山 皓三 (テ3-2・成章中)
第18回高校生ものづくりコンテスト佐賀県大会(教育長表彰) 電子回路組立部門 最優秀賞 森 柔磨	◆ バドミントン競技 男子ダブルス 第3位 古賀・吉松ペア 古賀 希紘 (テ2-2・鍋島中) 吉松 拓海 (テ3-2・北方中) 男子シングルス 第3位 武富 康泰 (キ3-2・大和中) 男子団体 第3位

SAGA 2020 SSP杯 佐賀県高等学校スポーツ大会(続き)

◆ ソフトテニス競技

男子個人	第2位	姉川・田中ペア	姉川 良哉 (テ3-1・基山中)
			田中 颯人 (シ3-1・川副中)
男子個人	第3位	百武・石井ペア	百武 龍斗 (シ3-1・諸富中)
			石井 大裕 (テ2-2・川副中)
男子団体	第1位		姉川 良哉 (テ3-2・大和中)
			田中 颯人 (シ2・城西中)
			百武 龍斗 (テ3-1・城南中)
			石井 大裕 (テ3-1・大和中)
			江頭 直希 (シ2・城西中)
			港 昂史朗 (テ3-1・城南中)
			渡邊 友雅 (テ3-1・大和中)
			松隈 大和 (シ2・鳥栖西中)

◆ 陸上競技

100m	第1位	田中 翔大 (シ2・鳥栖西中)
200m	第1位	田中 翔大 (ケ3・千代田中)
110mH	第1位	野中 創太 (キ2-1・有明中)
400mH	第1位	野中 裕斗 (キ3-2・白石中)
走幅跳	第1位	久保田 怜央 (テ3-2・東原摩合中央校)
円盤投	第1位	成富 晃平 (キ3-2・諸富中)
ハンマー投	第1位	井口 萌晃 (キ3-1・大和中)
やり投げ	第1位	山内 亘 (キ3-1・大和中)
総合男子	優勝	野中 創太
男子フィールド	優勝	井口 萌晃

◆ ラグビーフットボール競技 優勝

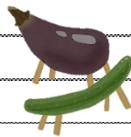
佐賀県陸上競技選手権

◆ 陸上競技

100m	第2位	末次 拓海 (シ2・武雄中)
200m	第1位	田中 翔大
400mH	第2位	野中 裕斗
4×100mR	第1位	田中 雄大 (シ3-1・白石中)
		フェルナー英輝 (シ2・城南中)
		田中 翔大
		末次 拓海
4×400mR	第3位	野口 裕貴 (テ2-1・昭栄中)
		末次 拓海
		井手 涼介 (ケ2・城北中)
		久原 駆 (キ2-2・牛津中)
		久保田 怜央
走幅跳	第1位	田中 雄大
走幅跳	第3位	野口 輝晟 (キ2-2・小城中)
砲丸投	第2位	成富 晃平
円盤投	第2位	井口 萌晃
ハンマー投げ	第1位	成富 晃平
ハンマー投	第2位	野口 輝晟
ハンマー投	第3位	

8 月 行 事 予 定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	土	小型車両講習会 (3年)	17	月	3年登校日
2	日	小型車両講習会 (3年)	18	火	3年登校日 第1回推薦会議
3	月	3年登校日	19	水	3年登校日
4	火	3年登校日	20	木	3年登校日
5	水	3年登校日	21	金	教職員採用試験会場のため立ち入り禁止
6	木	3年登校日	22	土	教職員採用試験会場のため立ち入り禁止
7	金		23	日	
8	土		24	月	始業式
9	日		25	火	主権者教育講演会
10	月	山の日	26	水	
11	火	学校閉庁日	27	木	第2回推薦会議
12	水		28	金	
13	木		29	土	マイコンカーラリー競技佐賀県大会
14	金		30	日	
15	土		31	月	
16	日				



佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<http://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoku/>

編集後記 最近、将棋を始めました。棋聖となった藤井聡太七段が素敵で、彼が打ち込んでいる将棋を私も知りたいと思ったからです。彼についての本のほかに、他の棋士が書いた本も読んでいます。将棋漫画も読みました。一手詰めの問題集も購入し、解いています。そして休日にはインターネット将棋で、一番下の「覚えて」レベルで実戦。好きな人のことを知りたいという気持ち、若者だけの専売特許ではありません。そうそう、藤井聡太君のカレンダーも買い、飾っています。 K



